

令和3年度 第2回吉川区地域協議会次第

日時：令和3年5月20日（木）午後6時15分
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 令和3年度地域活動支援事業（プレゼンテーション等）について

(2) その他

4 総合事務所からの諸連絡について

5 その他

・次回地域協議会の日程調整

5月27日（木） 18時30分から
吉川コミュニティプラザ

6 閉 会

令和2年度 地域活動支援事業(吉川区)実績一覧

No	事業名	実施団体	決算額 (円)	補助金額 (円)	事業概要	事業評価・今後の見通し	活動の様子(写真)
1	吉川三大枝垂れ桜を維持管理する事業	吉川三大枝垂れ桜を守る会	638,369	638,000	地域の財産である樹齢300年の吉川三大枝垂れ桜の腐朽処置、土壌改良等を樹木医とともに行った。この事業により花木の延命、隆盛が図られ、大勢の来客が見込めることとなった。	今年で三大枝垂れ桜3本の治療が終わり、花付きもより一層よくなり花見客に喜んでもらった。 吉川三大枝垂れ桜をより多くの人に知ってもらうため、保全活動や観桜会の開催に向け、万全を尽くしていく。	
2	長峰城址保存活用事業	越後長峰城址保存会	711,018	700,000	長峰城址本丸遺構(南空堀含む)の整備と見学コースづくりを行った。 また、見学会の開催、遺構説明看板の設置、植栽等を行い、長峰城址の保護、保存をすることで地域の歴史への理解が深まった。	改訂増補したパンフレットを作成し、見学会を開催したことで市内外から多くの参加者があった。 上越市の「地域の宝」の認定を契機に、さらに保存活動を進め、長峰城のPRを図りより多くの人から来訪してもらうようにする。 魅力ある長峰城見学コースづくりのため、雪割草の植栽など四季を通じた環境美化を図っていききたい。	
3	県道バイパス安心安全パトロール事業	長峰町内会	260,205	259,000	防犯灯未設置箇所の解消や老朽化した防犯灯の改修を行った。 また、児童の見守り活動、危険箇所の点検パトロールなど、ハード、ソフト両面で活動に取り組み、地域の安全安心を図った。	防犯灯の設置等により危険箇所の安全対策が図られた。 また、子ども会や老人会の協力を得ての交通安全・防犯講話会の実施、定期的な安全パトロールや子供の見守り活動を行うことで住民相互の安全意識の高揚が図られた。 今後も子ども会、老人会、消防団等の関係機関と協力して安全に向けた事業を継続して行っていく。	
4	尾神地域資源振興事業	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	717,454	700,000	吉川観光協会長杯やJ2パラグライダー大会の開催に合わせ、尾神そばイベントを開催することで、交流人口の増大や地域の活性化を図った。	尾神岳で行われるパラグライダー大会の全体的な知名度が一層高くなった。 また、昨年に引き続き、尾神そばイベントの開催により市内外のそば通の集客やギャラリーの増加がみられ、吉川区のPRに繋がった。 今後もこのようなイベントを継続することでパラグライダーや地域特産品等による集客に力を入れ、観光振興を図っていく。	
5	尾神岳山の上ライブ事業	吉川観光協会	709,710	700,000	吉川区のシンボルである尾神岳の山の上で音楽ライブを開催した。大自然の中で音楽文化を楽しむ新しい発見の機会を提供することで、吉川区の山岳観光をPRし地域振興を図った。	山間地域という集客に難しい場所での開催であるが、こうした取り組みを継続することで、吉川区と尾神岳観光エリアのPR効果が図られ、吉川区の活力向上に寄与していると考えられる。 今後も吉川区の地域資源を活かしながら、観光振興に貢献できるイベントを開催していききたい。	

No	事業名	実施団体	決算額 (円)	補助金額 (円)	事業概要	事業評価・今後の見通し	活動の様子(写真)
6	児童と地域との交流活動促進事業	吉川小学校後援会	522,390	522,000	屋外用簡易テントの活用により吉川小学校運動会等で児童と地域住民との交流を促し、地域の活性化を図った。 地震に対応した避難訓練及び防災用品の展示会を開催し、児童や地域住民の防災意識の高揚に努めた。	コロナ禍ではあったが、吉川小学校の地域住民を巻き込んだ活動の発表の場として、運動会や避難訓練及び災害備蓄品展示会を3密を避けて行うことができた。 今後は新しい生活様式を念頭に置いた避難訓練を計画し、保育園児、小学生児童と連携して訓練を実施していく。	
7	子供たちの健全育成を通し地域活性化を図る事業	夢をかなえる会	166,746	131,000	映画「夢は牛のお医者さん」を上映することにより、吉川小学校・中学校の児童生徒に夢を持つことの大切さ、実現のための努力の大切さを理解してもらう。 また、一般市民にも上映を公開することで地域の連携、活性化を図った。	3月の上映会に当初210人の来客を見込んでいたが、コロナ禍の影響等で135人の来客に留まった。しかし鑑賞した吉川小学校の児童から感想が寄せられ、「主人公が夢を叶える努力に感動した」、「夢をあきらめそうになったが、もう一度頑張りたい」等の感想があった。 また、時田監督の講演もあり、映画制作の目的やエピソードを聞くことができた。今後もこのような活動を継続していく。	
8	吉川中学校 地域とのふれあい事業	吉川中学校後援会	767,206	700,000	屋外用簡易テントと軽量の折りたたみ椅子を活用して、コロナ対策である3密の防止、熱中症対策に取り組みながら地域の活性化を図る貴重な場となる吹奏楽部のサマーコンサートなどを実施した。	コロナ禍により地域事業が中止になる中、地域との絆を図る中学校行事(吹奏楽部サマーコンサート、体育祭、OKAMI遠足、音楽祭)を実施するにあたり、今回の備品の活用により新型コロナウイルス感染症対策、熱中症予防に役立ち、生徒、保護者からも好評を得た。 中学校では今後も地域行事に参加し、地域の元気や活力につながる取り組みを継続していく。	
9	有事における避難所開設・運営手順を学ぶ事業	上越市防災士会吉川支部	715,423	700,000	災害時に高齢者同士でも支え合って避難行動が出来るために、自動車に依存しない準備が必要であり、避難所開設のための知識を高めるために、防災アドバイザーを招き講習会を開催した。 災害時に避難が困難な災害弱者の移動手段の確保と、速やかな避難所開設のために物資の運搬などで効果を発揮できるハンディキャンパーを区内7箇所の指定緊急避難場所へ配備した。	上越市防災士会吉川支部として初めての取り組みである「避難所開設・運営とハザードマップ講習会」は、予想を上回る受講者が集まり防災意識の高揚につながった。今回配備したキャンパーの取扱説明も含めて開催したことにより有事の際の活用役立つと考える。 今後も支部員自ら専門知識を身につけるとともに、自主防災訓練等への参加、アドバイザーとして活動していきたい。	
10	尾神岳スカイスポーツエリアにおける眺望並びに気象等の情報発信による誘客促進事業	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	1,645,600	550,000	尾神岳スカイスポーツエリアの利用者から気象状況をリアルタイムで見ることができれば、もっと利用できるとの声が多く寄せられている。 このためライブカメラを設置することで景観のPRや天候をリアルタイムで情報提供を行った、	ライブカメラ設置により、尾神岳スカイスポーツエリアの利便性が一層高くなり、グレードの高さからパラグライダー愛好者の誘客増加が見込めるようになった。 また、ライブカメラの利用はパラグライダー愛好者に限らず、山頂からの眺望など誰でもアクセスして見ることができ、一般の誘客数の増加も期待できる。今後は、道の駅の情報コーナー等で常時放映ができるようにしていきたい。	
計				5,600,000			

令和3年度 地域活動支援事業提案書受付一覧（質問事項・回答事項）

第2回吉川区地域協議会
令和3年5月20日
資料 No. 2

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無	質問事項	質問に対する回答事項
						事業費	補助希望額					
吉川区	1	4月16日	天岩戸・尾神伝説の保存伝承事業	水源地域振興対策協議会	—	676	675	尾神番所の石碑がある天岩戸周辺の環境整備を地元業者の協力を得て行い、地元住民をはじめ多くの市民や観光客が訪れる場所にするべく事業を実施していく。また、この整備に併せPRのために、記念式典や記念講演会を行うとともに、パンフレット等を作成し、来訪者等に頒布可能とする。	委員個人対応	無	1.No.7、No.8と同じ地域での提案事業である。お互いに話し合いをされて、より効果的な成果が得られるようにされてはいいか。総合的な見地での事業推進をお願いする。 2.全国的にも尾神・天岩戸は参拝者もなく寂しいところである。全国に4か所あると紹介されているが、事業費676千円、1年間の事業で果たして観光客や参拝客で賑わうのか。 3.「尾神」の地名の由来となった天岩戸を整備することで、地域の活性化に期待するものである。 4.来客用の駐車場が必要ではないか。交通安全に努めてほしい。 5.提案団体は違うが、同じ住所地からの提案が5件あるがどうかと思う。	1.同地域でも目的や内容が異なります。1事業の補助額上限が有り、特認の基準や額の提示もなく保証されません。尾神地域の総合開発を行える事業なら別ですが、限られた支援でどうしたら総合的な見地での事業推進を図られるかご教示願いたい。 2.当事業だけで多くの観光客や参拝客を望みません。伝説等を残し伝え、尾神岳へ出入りする市道脇の天岩戸(大岩)が目立つことで一定の成果が期待できます。 3.ありがとうございます。当提案で地区の2町内会の話になり、「いい」後はどうする」とか話が出るだけでも活性化につながります。皆さんの参拝も期待しています。 4.駐車場が必要な参拝者があれば嬉しいですが、歩いての散策などもお勧めし必要があれば検討していきます。 5.同じ住所地では9つの団体やグループの事務局を担っています。他で事務局や活動をしていただき地域の活性化等に取り組んでいただくことを望みます。現制度上では何の問題もないと認識しています。
	2	4月19日	よしかわ道の駅活性化事業	吉川観光協会	—	710	700	新型コロナウイルス問題の解決方向を見据え、コロナ禍における対応を図りながら、当協会とのお付き合いのある県内歌手をお願いし、「シンプルな音楽ライブ」を開催する。	委員個人対応	無	1.事業実施場所が、No.9と同じであり事業と一緒に取り組めないか。	・事業の目指す方向や内容が異なり、事業費的にも2つの事業を一緒にすることは困難です。2つの事業で関連がある部分等については協調を図りながら進めて参ります。
	3	4月19日	季刊「吉川タイムズ」発行业業	吉川タイムズ	—	228	220	新聞は年に4回、夏、秋、冬、春に発行する。A3両面カラー印刷。記者は吉川タイムズが公募し、または、記者としてふさわしい住民に依頼する。1号につき、10本。複数の市民記者に取材・執筆してもらい、記者の指導は団体が担う。編集作業は団体が行う。印刷は1,500部。市内の業者に依頼する。配布は、1,200世帯については、地元新聞店の折込にて行い、新聞購読者以外の世帯については、総合事務所、まちづくり吉川等、区内の適当な場所に配置することで全世帯に配布するよう努力する。市民記者に選ばれた区民は、吉川タイムズonlineにて、NHKの児童画廊のようなイメージで、動画で自己紹介を行う。記事もオンラインで展開する。	委員個人対応	無	1.令和3年4月号を拝読した。過疎化が急激に進む吉川区の活性化のため重要である。紙面上に上越タイムスの読者投稿欄のような日頃から思っていること、身近な出来事など吉川区民から投稿してもらうのもよいと思うが。 2.個人の一方的な思いを伝えるだけでいいか。誰がチェックするのか。個人の思いを伝えるだけであれば当事業を利用しなくてもよいのではないか。良いものを作るのであれば、事業費が増えてもよいと思うが。	1. そのように区民の方に反応していただけるよう紙面づくりに努めたいと思います。投稿は歓迎ですし、そうしたコーナーを設けることは可能です。 2. 吉川タイムズは小池個人のメディアで公共性がないから事業に向いていないというふうに読める質問です。約10年間の記事をよく読んでいただいて、その訪問者数と読まれたページ数をもって、委員の皆様にはご判断いただければと思います。主宰の小池はプロのジャーナリストであり、実績もごさいます。上越市議会の取材では報道機関として認定されています。弊紙は吉川区発の唯一の報道機関です。地域協議会の取材を9年間、誰も傍聴者がいないなか、ひとりでビデオカメラを回していたのをご存じかと思えます。また、今回の新聞は、小池が記事を書くわけではありません。吉川区の各代表機関に協力をいただきつつ、市民(記者)に書いていただきます。内容のチェックや編集は小池が行いますし、編集委員は、小池以外にも頼むつもりです。ご心配のように小池個人の新聞にならないよう、留意したいと思えます。※誤解なきようお願いしますが、吉川タイムズは非営利事業です。約10年間、手弁当です。
	4	4月20日	「地域のお宝自慢」探検隊事業 地域のお宝マップづくり	吉川区青少年育成会議	—	597	546	地域の伝統行事・料理、文化財、特産品、景観等のさまざまな地域の魅力について、子供たちが地域の人からの聴き取りや現地調査・文献等を通して、地域の魅力を再発見し「お宝自慢カード」にまとめ、グループごとで「地域のお宝自慢集」を作成(成果品)する。成果品は、関係地域の代表者や青少年育成会議の皆さんからの点検後、校内、地域内外への発信用とし、冊子やマップを作成し発表会を行う。	委員個人対応	無	1.事業費は希望額より増額することになるが、もう少し充実した活動に結びつく事業ができないか。 2.コロナなどで学校も多忙である。学校との連携方法や成果品の今後の活用方法を含め、具体的な事業計画、取り組み内容を教えてほしい。	1.発表会の充実を図る。 ○ 講師を招き発表会と講演会を開催する。 ① 子どもたちの自己評価能力を高めるため振り返り活動として、講師を招き感想を依頼する。 ② 「地域の宝」の活用方法等についての講演会を同時開催する。 2.学校の連携について ○ 事業内容の共通理解を図る。(連携=共通理解) 事業提案書作成にあたり、事前に学校との打合せ済みである。また、提案書も事前に確認いただき共通理解を図った。
	5	4月20日	長峰城址保存活用事業	越後長峰城址保存会	—	708	700	実施にあたっては、関係機関との連携を図るとともに、フェイスブックページ等により随時に情報発信を図る。特に今年度は、長峰城御城印を作成し、長峰城の普及資料とするとともに長峰城・登城記念品とする。 ○長峰城見学会の開催 時期:7~8月 会場:長峰城現地、見込み参加者数:50名 ○広報・啓発事業 (1)遺構説明板の設置2台と移設1台、案内看板の修繕・塗装等 (2)長峰城御城印の作成 仕様:ハガキ大袋入れ 500部、揮毫:牧野忠昌氏(牧野家第17代当主) ○安全コースづくり・魅力向上事業 (1)安全・分かりやすい見学コースづくり ・西土塁・空堀の下草・小木倒伐整備等 (2)魅力向上事業 雪割草160本、曼珠沙華50球の植栽	委員個人対応	無	1.次年度以降の活動の見通しで、ゆつたりの郷等との連携を進めるとあるが、どのようにして連携して進めるのか、具体的に説明してほしい。	・これまでゆつたりの郷からは長峰城啓発パネルの展示や、パンフレットの設置協力をいただいています。また、長峰町内会が進める花いっぱい運動にも、水やりや除草などの協力をいただいているところです。 ・今年度はゆつたりの郷主催の毎月1回の「長峰遊湯散策プラン」に協力して、保存会では長峰城や長峰池を含む地域の案内をさせていただく予定で、4月25日に第1回目を実施しました。2回目は5月30日(日)の予定です。 ・今年度はさらに、保存会独自でも作成する長峰城御城印の設置協力をいただくこととしており、長峰城来訪者へのサービス向上に努めたいと思えます。 ・次年度以降も今年度の取組みを継続して実施するとともに、さらにお互いの持ち味を融通し合いながら相互協力と連携をし、長峰城の啓発・普及を進めていきたいと思えます。
	6	4月21日	吉川区昭和と平成の記憶記録事業	里山文化研究会	—	320	275	90歳代の高齢者のオーラルヒストリーを記録(DVD化)することで、吉川区という地域から見た昭和の時代の社会変化を描く。50人の記録が残れば、後世への極めて重要な歴史資料となる。上越市内で特に吉川区が研究者の調査対象地域として注目を得ることになる。地域の歴史証言を記録し、地域の将来文化の礎を築く事業に取り組む。	委員個人対応	無	1.もう少し事業費を増額する中で、昔話を載せるとか、充実した内容のものにできないか。 2.DVD化した後の活用方法が見えない。どのように活かすのか。 3.DVDにするのか、冊子にしてまとめるのか教えてほしい。	1.事業額増額について 事業申請にあたり慎重に検討した結果、聴取(インタビュー)・編集・DVD作製までの作業量から年間10人が限度と判断しました。 事業採択された場合、上越教育大学で現代史を専門とする先生の意見(必ず聴取すべき点)も取り入れながら歴史学・社会学・民俗学の研究資料に耐える資料収集を目指します。 なお初年度の事業を進めるなかでインタビューの養成もして次年度以降はより多くの聴取が可能となる体制を作りたいと考えています。 「昔話」は聴取の過程で出てくれば当然取り上げますが、昭和50年代に新潟県が吉川各地で調査・録音をおこないましたから、むしろそちらの記録を発掘することが大事かと考えます。 2.DVD化後の活用 最大の目的は吉川区の昭和・平成の記憶を残し、後世の歴史学・社会学・民俗学の研究資料とすることです。しかしせっかくのオーラルヒストリーであり地域の歴史証言をただ5枚のDVD作製だけで終わらせるのは残念に思うところですが、DVDの頒布やインターネット動画配信をするためには、インタビューに応じてくれる人との法的な問題を解決して契約を結ぶ必要があります。事業費の増額(5万円程度)を得られるなら、弁護士事務所による契約書(同意書)を作製し、将来に備えたいと考えています。 3.冊子 録音・録音から活字化することも検討しましたが、活字化には膨大な時間と費用が必要のため、今回は取り組みません。(おそらく1人の記録を活字化するためには20万円から30万円以上必要と思われる。)

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無	質問事項	質問に対する回答事項
						事業費	補助希望額					
	7	4月21日	尾神観光資源PR事業	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	—	717	700	尾神エリアで開催されるパラグライダー大会に併せて、好評で定着しつつある尾神そば早食いイベントを開催する。また、パラグライダー大会やそばイベントに加え、尾神観光エリア周辺に数多くある施設や景観などを映像でPRを可能とするため、専門業者に委託してDVDを作成し、その活用を推進していく。	委員個人対応	無	質問なし	
	8	4月21日	尾神岳山頂遊歩道・絵馬堂等整備事業	尾神岳ファンクラブ	—	696	695	尾神岳の山頂までの山道は、約1.8kmあり、特に市道尾神川谷線から展望台近くまでの約400mの間は坂道だったり、側溝もないため雨水により土が洗い流され、大きな石や木の根等により危険性もあるため、安全性を考慮したトレッキングコースとしての再整備、そこから山頂までの約1.4kmについての整備や山頂の絵馬堂の新設、スカイツリーモニュメントの化粧直し等は地元専門業者に委託して整備する。また、山頂周辺の案内図を作成したり「尾神山頂をゆっくり歩こう会」を計画し実施する。	委員個人対応	無	1.No.1、No.7と同じ地域での提案事業である。お互いに話し合いをされて、より効果的な成果が得られるようにされてはいかか。総合的な見地での事業推進をお願いする。 2.人口が減少し、高齢者が増加する吉川区で、健康増進のために当事業は大変に重要である。何事も造っても維持管理や利用者がいなくては価値がない。PR活動を実施し、来訪者を多くすることに大いに期待するものである。 3.マンパワーが必要な内容ではないかと思う。実際、誰が作業をやるのか。業者委託にするのではなく、協力者を募って、整備後の交流に結びつくような事業であれば将来的な展開も図られるのではないか。 4.整備後、どのように集客に結び付けるのか。整備後の見通しを教えてください。	1.同地域でも目的や内容が異なります。1事業の補助額上限が有り、特認の基準や額の提示もなく保証されません。尾神地域の総合開発を行える事業なら別ですが、限られた支援でどうしたら総合的な見地での事業推進を図られるかご教示願いたい。 2.ありがとうございます。今回の事業をきっかけに来訪者が一層増えることを期待していますし、PRにも努めて参ります。 3.8年前にボランティアを募り、専門業者の力も借りて実施し、その後も何とか維持してきました。クラブ会員も高齢化し、若者のボランティア協力が得られない昨今で有り、今なら安価で専門業者をお願いできると考えています。 4.今はコロナ禍でPRを控えています。団体やグループ等の問合せが有ります。来訪者からは「歩き易いように」「絵馬堂は直さないの」等の意見もあります。皆さんからのPRやご利用も是非お願いします。
	9	4月21日	吉川酒文化の発信事業	吉川観光協会		701	700	新潟県出身の歌手、「ひなた」、「ラフベリー」と協力し、オリジナル限定酒の醸造を行い、吉川区内外に広くPRすることで販売拡大につなげていく。	委員個人対応	無	質問なし	
	配分額 (単位:千円)		5,600	差引	389	5,353	5,211					